

講演会

# 子育て支援の意義を確認する ～児童虐待といやされない傷～

人生の早期に幼い子どもがさらされた被虐待体験は、想像を超える恐怖と悲しみとなり、子どもの人格形成に深刻な影響を与えてしまうことが一般社会にも認知されてきました。子どもたちは癒やされることのない深い心の傷（トラウマ）を抱えたまま、様々な困難が待ち受けている人生に立ち向かわなければなりません。トラウマは子どもたちの発達を障害するように働くことがあり、従来の「発達障がい」の基準に類似した症状を呈する場合があります。子どもたちの発達の特性を見守るのが周囲の大人の責任であることを再認識しなければなりません。本講演では児童虐待への曝露が脳に及ぼす数々の影響をご紹介します。



講師

子どものこころの発達研究センター  
友田 明美 教授



【日時】 平成 28 年 5 月 28 日（土） 10：30～11：30

【場所】 福井大学総合研究棟Ⅰ 13階 大会議室  
(福井市文京 3-9-1)

【講師】 友田 明美  
(福井大学子どものこころの発達研究センター 教授)

【対象】 どなたでも

【受講料】 無料

当日は大学祭及びご卒業生向けホームカミングデーを開催しています。

お申込み・お問い合わせ  
福井大学地域貢献推進センター（社会連携係・産学官連携本部 3 階）  
〒910-8507 福井市文京 3-9-1  
TEL：0776-27-8060 FAX：0776-27-8878  
E-mail：koken@ad.u-fukui.ac.jp  
URL：http://chiiki.ad.u-fukui.ac.jp